

Microsoft Office の種類

パソコン勉強会 2019(H31).3.24(日)

2019(H31).3.3 T.Ogawa

1. Microsoft Office の分類とバージョン

Microsoft 社の Office を分類すると図表に示す 3 つのグループに分類できる。

【表】MS Office の分類

分類	概要 (特徴と説明)	価格
Office Online	<ul style="list-style-type: none">➤ Web ブラウザ (Microsoft Edge、Google Chrome) の Web アプリであり無料でインストールし使用できる➤ Office 文書はクラウド上の OneDrive (15GB) に保管される	無料
永久ライセンス	<ul style="list-style-type: none">➤ PC に搭載 (プリインストール) されている Office はその PC だけで無期限に使用できる➤ ネットや店舗で商品として購入する一般的な Office は 2 台の PC にインストールして使用できる	商品購入
サブスクリプション	<ul style="list-style-type: none">➤ Office 365 は有期 (1 年間) の使用料金を定額 (年払い/月払い) で支払う Office である➤ Office 365 は 1~2 ヶ月毎にバージョンアップされている	定額使用料 (年/月)

【表】MS Office のバージョン

バージョン	発売日	サポート終了
Office 2002 (Office XP)	2001/06/08	2011/01/09
Office 2003	2003/09/01	2014/04/08
Office 2007	2007/01/30	2017/10/10
Office 2010	2010/06/17	2020/10/13 (予定)
Office Online ^(※1)	2010/06	常に最新バージョンを保つ
Office 2013	2013/02/07	2023/04/11 (予定)
Office 365	2013/02/27	常に最新バージョンを保つ
Office premium ^(※2)	2014/10/17	常に最新バージョンを保つ
Office 2016	2015/09/23	2025/10/14 (予定)
Office 2019	2019/01/22	未定 (2029 頃までか?)

(※1) 2010/06 から無償提供されていた「Office Web Apps」が 2014/02 に名称変更された。Word、Excel、PowerPoint 等の閲覧と簡易な編集ができるオンラインアプリ

(※2) 日本限定のプリインストール用 (PC 搭載) の永久ライセンスの Office であり、Office 365 と同時にアップデートされて最新バージョンを保つ

2. Office Online

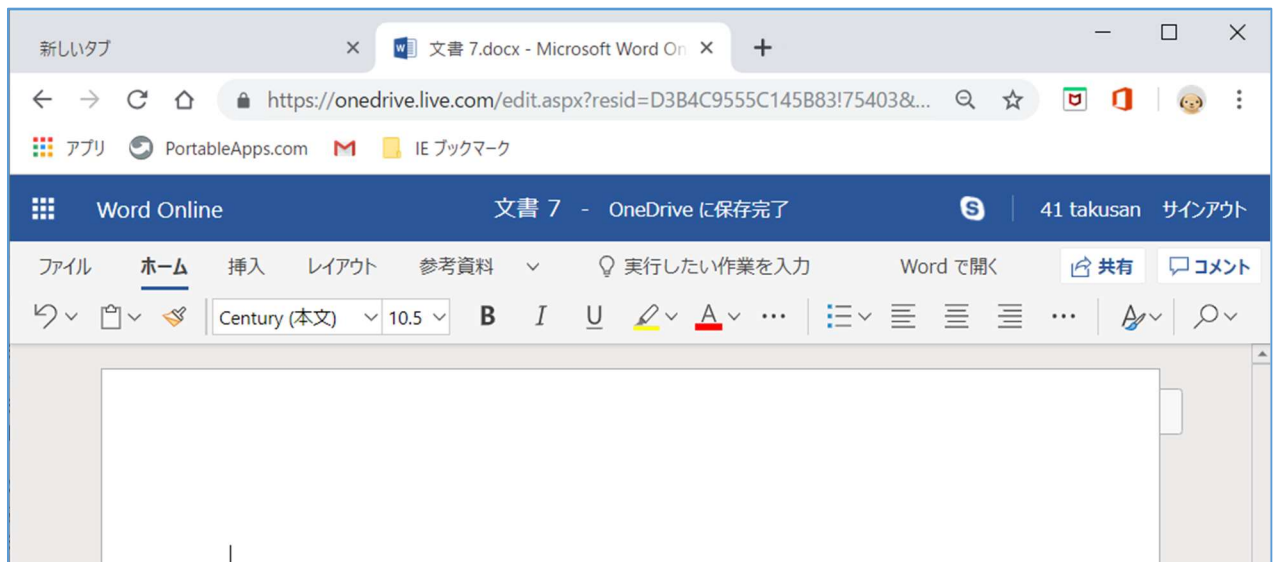
Office Online は、Web ブラウザ (Edge、Chrome) 上で実行される Web アプリであり、Office Online の名が示すようにオンライン (Web 上) で実行できる Office である。

(1) Office Online の画面と Office 2019 の画面の比較

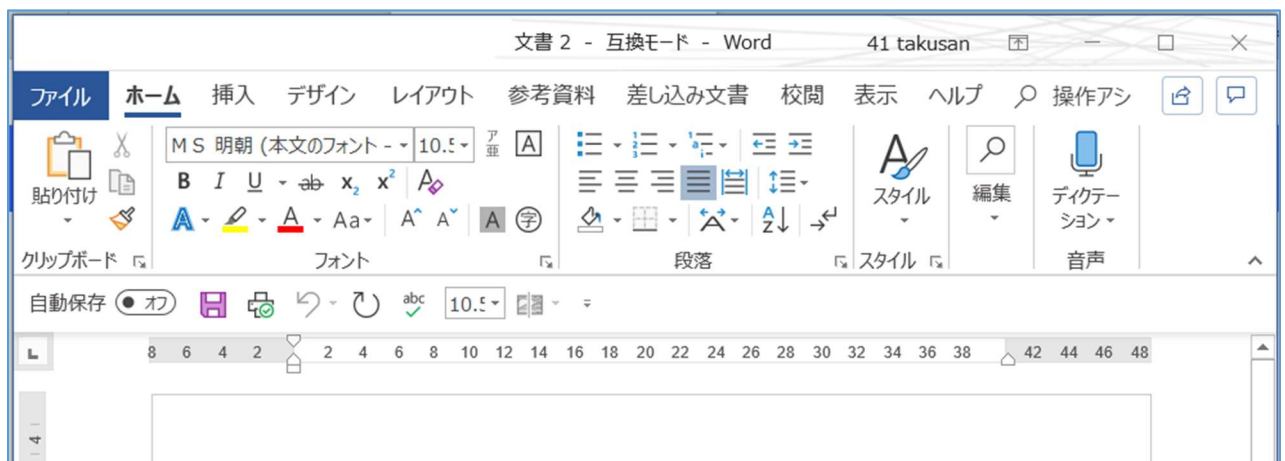
Office Online と Office 2016 の機能の差は、各 Office のリボンを比較すると明らかです

べて驚くほど機能が少なく劣るので、それを覚悟して使用する必要がある

Word Online の画面 (Ver.16.0.11427.32652)



Word 2019 の画面 (Ver.1901 ビルド 11231.20174)・・・2019/02/12 リリース



(参考) 2019/02/07 時点の Office2019 の最新バージョン番号は「Office 2016C2R および Office 2019 の更新履歴 (<https://docs.microsoft.com/ja-jp/officeupdates/update-history-office-2019>) で確認した。

手元 PC の「Office Home & Business Premium」のバージョンは、[Word] → [ファイル] → [Word のバージョン] で調べると「Ver.1901.11231.20174」になっている。


(補足) [コントロールパネル] → [プログラムと機能] で調べると 2019/02/17 に更新されていて、「Ver.16.0.11231.20174」となっている。

バージョン番号 (16.0) はプリインストール時のバージョン (Office 2016) であり、ビルド番号 (11231.20174) は Office 2019 と同じである。

(2) Office Online を Edge や Chrome にインストールする

Office Online は Web ブラウザ (Microsoft Edge、Google Chrome) 上で使用する Web アプリである。

《 Microsoft Edge へのインストール 》

Edge を起動 → [設定] → [拡張機能] → [その他の編集機能を探す]
→ 「office online」と入力して [Office Online] を検索
→  (Office Online) をクリックしてインストール

《 Google Chrome へのインストール 》

Chrome を起動 → [設定] → [ウェブストアを開く]
→ 検索窓に「office online」と入力して [Office Online] を検索
→ [Office Online] の [Chrome に追加] をクリックしてインストール

3. 永久ライセンスの Microsoft Office

永久ライセンスの MS Office は、プロダクトキーを登録した PC で無期限に使用できる。

(1) Office 2019 の種類

ユーザがネットや店舗で購入 (プリインストールを含む) できる Office 2019 には次の種類がある。

【表】 Office 2019 の種類とアプリ

種類	製品に含まれるアプリ	価格
Office Personal 2019	Word、Excel、Outlook、OneNote	¥32,184/2PC
Office Home & Business 2019	Word、Excel、PowerPoint、Outlook、OneNote	¥37,584/2PC
Office Home & Business ^{プレミアム} Premium ^(※) (プリインストール PC のみ)	Word、Excel、PowerPoint、Outlook、OneNote、 プレミアム (おまけ、特典) ×2 種	日本限定
Office Professional 2019	Word、Excel、PowerPoint、 ^{パブリッシャー} Outlook、Publisher、Access、OneNote	¥64,584/2PC
Office Professional Academic 2019 (学生、教員等)	Word、Excel、PowerPoint、Outlook、Publisher、Access、OneNote	¥59,800/2PC

(※) Office Home & Business Premium はプリインストール PC 専用の製品であり単体では市販されない。またこれは日本限定の Office 製品である。

Premium (英語) には、高級、上等、景品、おまけ、上乘せ料金等々の意味があるがここでは Office Home & Business に日本限定の付けた「おまけ」を意味している。

Office Home & Business Premium での「おまけ/景品」は次の 2 つである。

- ① Office 365 の機能を用いてバージョン更新 (1~2 ヶ月間隔) を無料で提供する
- ② 年額料金 ¥6,264 の Office 365 サービス (1TB の OneDrive、Skype 電話通話が毎月 60 分間無料、スマホ等での Office 使用) を 1 年間無料で使用できる

なお、Office Home & Business Premium は Office 365 のアプリを利用しているようであり、起動中の画面で「Word Office 365」、「Excel Office 365」等と表示する

(2) Office 2019 の入手方法

Office 2019 の入手方法は次のとおりである。

【入手方法 1】 Office 搭載（プリインストール）PC を購入する

家電量販店では国内メーカー（日電、富士通、東芝等）を中心にして、Office を搭載（プリインストールした PC を多数展示しているのので、Office を必要とするなら Office を搭載した PC を購入することを勧めます。

PC の製造するメーカーは、Microsoft 社から多量の Office ライセンスを安く（¥5,000 以下か？）仕入れて、それをインストールした付加価値が高い PC を多量に製造している。我々ユーザは Office 搭載 PC を買うことで、Office を単独で追加購入するより各段に安く Office を手にすることができる。

（参考）DELL、HP の PC にオプションで Office を付けると ¥20,000 アップする。

【入手方法 2】 店舗で POSA カードを買ってインストールする

店舗やネットで販売する Office は、パッケージ版（DVD）⇨ パッケージ版（キーカード）と変遷してきたが、パッケージ版の廃止に伴って近年は POSA カード^{ポサ}（※）が主流になった。

（※） POSA (Point Of Sales Activation) はインコム・ジャパン（株）の登録商標であり、日本を含めて 30 ヶ国以上で利用されている。

POSA カードは販売時点（Point of Sales）で活性化・有効化（Activation）されるカードを言う。

コンビニのラックのフックに吊るしてある厚紙のカード（1cm×5cm 前後）が POSA カードです。例としては、① スマホ／タブレット用の定額カード、② ネットゲーム用の定額カード、③ ネット通販用の定額カード、④ 電子マネーの定額カード、⑤ ギフト用の定額カード等がある。

店頭に置かれた POSA カード版を手にとってレジで支払を済ませると、POSA カードの裏面に印刷してある「ライセンスキー（プロダクトキー）」がネット経由で有効化される。

【重要】 レジで支払いを行わないで持ち帰った場合は、POSA カード裏面に記載された「ライセンスキー」は無効のままであり価値がない紙のカードに過ぎない。このため、よく話題になる「万引き」は起こりえないと思う。



裏面にシールを貼られた「プロダクトキー」が印刷されているが、**レジで支払わないと無効のままの紙くずである。**

【インストール方法】

指定された Web サイトからダウンロード後インストールを行い、求められたら POSA カードの裏面に記載されている「ライセンスキー」を入力して使用の認証を得る。

【入手方法 3】 ネットで買いインストールする

「価格.com」で調べたところ全て Microsoft 社の税込みの価格で表示されていて、POSA カードの支払手数料（代引¥864）を加えると店舗購入より高くなる。

「格安 office 2019」と入力して検索したところ「YAHOO! ショッピング」のサイトで、下図に記事がヒットした。

<https://store.shopping.yahoo.co.jp/jimuisoge/professional-plus-2019-1pc.html>



プロフェッショナル プラス 正規保証
マイクロソフト Office 2019 1PC プロダクトキー
[永続ライセンス /ダウンロード版 /
Office 2019 Professional Plus/ 正規保証]

当日発送
 レビューを投稿する

office 2019,office 2019 pro,office 2019 pro plus

価格 **3,980円** (税込)

0円 で購入のチャンス! ↓

全国一律 **送料無料**
※条件により送料が異なる場合があります

【こんな情報を耳にしました】

数年前前から、ネット上で堂々と販売しているので違法ではないと思いますが、3万円以上する純正の Microsoft Office が1万円以下で販売しているのを見かけます。安い時には5千円を割ったこともあるそうです。

きっと上図の YAHOO!ショッピングもそのようなサイトだと思います。

時々利用しているという方から聞いたという話ですが、その方は、『今まで一度も「裏切られた」ことはない』とのことですが、あくまで「自己責任」での購入だと言っているそうです。

なお購入時の支払は、ほとんどが「銀行振り込み」で、永久ライセンスの Office だそうです。

購入の流れは、おおよそ次の手順だそうです。

- ① オンラインで発注 → ② 1~2 時間後にメールが届く ③ メールに書かれた口座に振込む
- ④ 1~2 時間後に代金受領のメールが届く
- ⑤ メールに書かれた URL から Office をダウンロードした後インストールする
- ⑥ インストール中に求められたらメールに書かれた「プロダクトキー」を入力する

なお殆どの場合、転売(注文者が別の人に売る)の防止のため、メール受信後 2 日以内にインストールを完了する必要があるそうです。

4. サブスクリプションの Microsoft Office

サブスクリプション^(※)は近年台頭したビジネスモデルであり、Microsoft 社の Office 365 はサブスクリプション型のビジネスと言える。

(※) サブスクリプション (英語: subscription) には、「有限期間の使用許可」の意味があり、提供するものは商品やサービスの数ではなく、利用期間に対して対価を支払う方式のことである。多くの場合は月額料金あるいは年額料金といった「定額制」で利用する。

【サブスクリプションの例】

- ① **Air Closet** (エアークローゼット) : スタ일리ストが選んだ洋服を月額料金で貸し出すサブスクリプションであり、ライト (洋服 3 着を借りて月額 6,800 円)、レギュラー (1 着を無期限で借りて月額 9,800 円) がある
- ② **野郎ラーメン** (フードリヴァンプ) : ラーメンを 1 日 1 杯まで制限で食べさせるサブスクリプションであり毎日食べても月額 8,600 円である
- ③ **NOREL** (ガリバーインターナショナル) : 自動車を月額料金で貸し出すサブスクリプションであり、900 車種以上の車から自由に乗り換えながら借りて月額 19,800 円である

ビジネスモデルは、誰に (Who : 顧客)、何を (What : 提供価値)、どうやって (How : 提供方法、提供プロセス)、付加価値 (利便性) を提供し、収益 (継続的な利益) を得るかを盛り込んだビジネスの仕組みのことをさしている。

これを Microsoft の Office 365 を例にして説明すると、誰に (PC の使用者に)、何を (Office 365 の使用許可を)、どうやって (年額料金/月額料金をオンラインによるクレジット支払で)、付加価値 (Office を 1 年間/1 カ月間使用できる権利) を提供し、継続的な収益を得るビジネスの仕組みである。

【表】店舗やネットで販売されている Office 365 の種類

《家庭向けの Office 365》 1 ユーザ (何台でも) 当たり税別の年額料金

種類	主なアプリ	年額料金
Office 365 Solo	Word、Excel、PowerPoint、Access、Publisher、OneDrive (1TB)、Skype (60 分/月)	12,744 円/年 (1,274 円/月)

《一般法人向けの Office 365》 ユーザ (2 台まで) 当たりの税別の月額料金制 (年契約)

種類	主なアプリ等	月額料金
Office 365 Business	Word、Excel、PowerPoint、OneNote、Outlook、Publisher、Access、OneDrive for Business (1TB)	900 円/月 10,800 円/年
Office 365 Business Premium	Word、Excel、PowerPoint、OneNote、Outlook、Publisher、Access、OneDrive for Business (1TB)、SharePoint、Microsoft Teams 他	1,360 円/月 16,320 円/月
Office 365 ProPlus (大企業向け)	Word、Excel、PowerPoint、OneNote、Outlook、Publisher、Excel BI、OneDrive for Business (1TB)、Skype for Business、	1,310 円/月 15,720 円/年 ★ 購入手段不明 ★

3年以上使いたいなら「永続ライセンス」がお得です！